

朝食の客数が 2019 年同月比 2%増でコロナ前を上回る、 2022 年 7 月の外食・中食市場 <外食・中食 調査レポート>

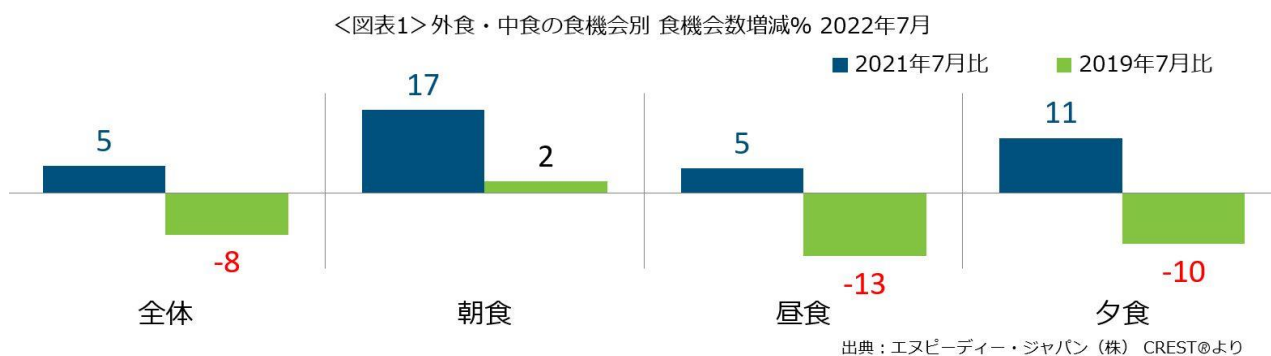
2022 年 10 月 4 日
エヌピーディー・ジャパン株式会社

外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社（東京都港区、クリストス・クリストフォロー代表）は、外食・中食市場における朝食の動向分析レポートを 2022 年 10 月 4 日に公表します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。2022 年 7 月の外食・中食全体の食機会数は、2019 年 7 月比で 8%減でしたが、朝食は、同 2%増と、コロナ前の水準を上回りました。朝食が特に成長したのは、業態では、FF+セルフカフェで同 9%増、利用シーンでは、週末で 8%増でした。

2022 年 7 月の朝食の客数が 2019 年同月比 2%増でコロナ前を上回る

外食・中食全体の食機会数は、2022 年 7 月に 2019 年同月比 8%減でしたが、朝食は、前年同月比で 17%増と大きく回復し、2019 年同月比では 2%増と、コロナ前の水準を上回りました（図表 1）。



朝食が特に成長したのは、FF+セルフカフェで同 9%増、週末で 8%増

2022 年 7 月の朝食の食機会数成長をけん引した業態やシーンをみると（図表 2）、特に伸びたのは、FF+セルフカフェの利用で、2019 年同月比 9%増、週末の利用で同 8%増でした。その

他、テイクアウト・出前、会社員の利用、週日の利用も 2019 年同月と同程度の水準まで回復しています。

<図表2> 外食・中食における朝食の食機会数 2022年7月
2019年同月比%



出典:エヌピーディー・ジャパン(株) CREST®より

エヌピーディー・ジャパン フードサービスシニアアナリストである、東さやか（あずま・さやか）は、次のように話します。「内食比率が多い朝食ですが、飲食店やスーパー、コンビニを利用するのは、自炊できない理由がある、または時間がないなど『必要な習慣的消費』で、内食への代替が難しい場合が一定多数あることが、他の食機会と比べ回復が早いそもその理由と考えられます。また人々の生活、全体の約半数の食機会数を占める会社員がリモートワークからオフィスへと戻り日常が取り戻されつつあること、一方値上げが加速する中で他食機会より客単価が安いことも、その要因として挙げられます。週日に加え、週末の朝にも回復が進んでいることから、立地や消費者の新しいニーズを再定義、注力することで、ますますのビジネスチャンスとすることができそうです」。

*1 **CREST®**

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを1年365日、消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。世界13か国で実施。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

■本件に関するお問い合わせ先
エヌピーディー・ジャパン株式会社
担当：東（あずま）さやか



所在地 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL : 03-5798-7663

Email : npdjapan.info@npd.com

■会社概要

会社名 エヌピーディー・ジャパン株式会社

英名 NPD Japan Ltd.

設立年月日 2003年 4月 31日

所在地 〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL (03) 5798 - 7663

資本金 80,000,000円

株主 The NPD Group Inc. (100%)

代表者 クリストス・クリストフォロー

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

